

# センター通信

2015年2月〔第223号〕

Create(創造), Challenge(挑戦), Collaborate(協働)を大切に

発行所 社会福祉法人広島市をつなぐ育成会

広島市就労支援センター

TEL (082) 537-1331

FAX (082) 537-1332

E-mail: si-jusan@gaea.ocn.ne.jp

http://h-shisyurou.jp/

## あらためて就労支援を考える

広島市就労支援センター運営協議会副委員長 安部倫久

〔社会福祉法人 交響 常務理事〕

突然に出された感のある障害者分野における改革のグランドデザインからすでに10年が来ようとしています。その後、平成18年に施行された障害者自立支援法によって、障がい福祉分野で「就労」という言葉が使われるようになりました。そして働く場の違いから「一般就労」と「福祉的就労」という言葉も使われはじめました。それまで、日々「(障がいが高くても)その人らしい働き方」を試行錯誤していた価値観を大きく変えることを求められたといっても過言ではありません。日本知的障害者福祉協会の機関誌では、「パラダイムシフトを伴う改革…」という言葉まで使われています。

そして、福祉的就労の中心的事業が就労継続支援B型事業です。そこで支払われる工賃の論議がこれまでずっと続いています。「福祉的就労の工賃の底上げ」という利益や稼ぎの結果重視という価値感によって、工賃倍増5ヵ年計画(H18~23)、工賃向上計画(H24~26)そして障害者優先調達推進法(H24)と次々と政策がすすめられています。加えて、こういった状況に沿って、職員の工賃向上に向けた意識の低さや努力不足が指摘されたり、結果(高い工賃を払うことができた)を出した事業所こそが「優れた事業所」という評価を得るといのが実情となりました。

障がいの種別程度なく「働く場づくり」をすすめていた小規模作業所が、法人化をすすめてきた経緯から、現在の事業体系の示す目的に沿った工賃の分配方法に結論を出せないままになっているところも多いのではないのでしょうか。

一般就労をめざして就労系事業を選択している人、小規模作業所から就労継続B型を経営上選択した事業所、株式会社やNPOによる就労継続B型の増加、生産的活動を中心的プログラムとしている生活介護事業所など利用者ニーズも含めて混在化している現状があります。就労支援のあり方を考えるにあたり、福祉的就労の本来の目的と同時に「工賃向上という結果」を求められる課題提起に対して、考え方と環境の整理をする必要があります。もちろん、工賃向上=就労支援ではなく、工賃向上もひとつのファクターとして、その人にあった「働きがいのある」支援を模索するということです。

ひとつの社会実験として、千羽鶴再生プロジェクトファクトリーチーム構想があります。チームの事業所では、同じ千羽鶴解体という仕事が地域との交流行事として実施されたり、障がいの重い利用者の仕事として実施されたりするなど事業所ごとに違う目的で行われています。

共同実施主体のNPO千羽鶴未来プロジェクトによって、ノートをはじめさまざまな再生紙を使った製品が開発されています。また、各事業所のオリジナルカレンダーなど自主製品も誕生しています。こうした活動を行政も後押しして頂ける話も徐々に具体化しています。そして、なによりこのファクトリーチームには、広島で活躍する多くの一般企業が賛同しているという事が重要です。



このように今後の障がいのある人の就労支援が、企業も含めて「ともにつくる」という考え方ですすめられることで、「社会的価値ある(働きがいのある)仕事」につながり、多くの共感を生み出し、その結果として売上げが伸びるなど工賃の向

上につながるのだとおもいます。

広島市就労支援センターは、市内の障害者事業所の商品の販売拡大と同時に事業所の社会的活動も含めて広く市民に広め、共感を頂いた個人・団体・企業のみなさんと事業所をつなぐ役割を果たしていきたいと願っています。「働きがいのある人間らしい仕事」のキーワードとして、あらためて「ともにつくる」ことを試行錯誤していきたいとおもいます。

### 第3回ブラッシュアップ勉強会の報告

昨年10月15日に育成会総合福祉センターにおいて「布製小物」をテーマにした第2回ブラッシュアップ勉強会を実施しました。アドバイザーに吉清有三氏（株式会社ムルク社長、デザイナー）、アシスタントに難波典子氏（株式会社アンド代表取締役）を迎え、3事業所が持ち寄った商品について有意義な話し合いを行いました（平成26年11月号掲載）。これで終わるのは惜しい、そこで最初にお知らせしていた第3回のテーマを急遽変更し、1月27日（水）に前回の継続として同じメンバーによる勉強会を開催しました。

〔SAORI hands 広島：正岡氏〕さをり織りの面を広げて見せるように縦に流して全体が見えるように展示しましたとその写真を披露、アート作品のようだ、カフェにタペストリーとして飾ればセンスの良い店になるかも、半分に切ってつなぎ合わせ「のれん」にしては、その残った布は小物に使える、洋裁ができる人や事業所とコラボして用途を具体的に提案した商品にしてはどうか…、〔オレンジハウス：前原・飯田氏〕鍋つかみは掴みやすい大きさになっている、美味しそうな形、暖かみがあって安定している、柄もよい、でも和風と洋風の柄は一緒にしない方がよいのでは、あなたならこれをいくらで買う…、〔おりづる作業所：鶴山氏〕箸袋、三角に切るのが難しかった、布が少なくなったので単価的にも安くなるかな、裏返さない工程が短縮できた、持参されたランチョンマットでは、素敵柄、裏も質の良い無地の布を使ってリバーシブルにしてはどう、無地には力強さがある…。パッケージやネームは強い力をもつ、原価や売値をいくらにする、加工を別にお願した時の利益はいくらになる…等々、ホワイトボードとプロジェクターを使って示唆に富んだお話でした。「商品に力を与える」、「誰にでもできるものを作らない」をスローガンに！最後に先生方の作品が紹介され、大いに参考になりました。参加者の真剣な目から、人の欲しがる良い商品がこれからできると確信しました。



### 広島市役所・安佐北区役所出店販売（1階ロビー）

販売時間は12:00~13:00です。皆様のお越しをお待ちしております。

#### 広島市役所販売

2月3日	ワークハウス スマイル	もみじ作業所	アイラブ作業所
2月10日	みのり作業所	広島どんぐり作業所	元気工房やる気まんまん
2月17日	つくしんぼ作業所	未来館	安芸の郷
2月24日	なないろ作業所	アイサンサン作業所	きつつき共同作業所

#### 安佐北区役所販売

2月3日	可部つちくれの家	NPO 法人 憩
2月10日	つくし工房可部	よもぎのアトリエ 夢ひろば
2月17日	お菓子工房エール	オレンジハウス

記事にする話題、情報がありましたらお知らせください。